

内灘町屋内温水プール指定管理候補者選定委員会 会議記録

会議名	内灘町屋内温水プール指定管理候補者選定委員会
日時	平成28年1月19日(火) 14時00分 ~ 15時30分 内灘町役場 303会議室
出席者	(委員) 田村暢熙(委員長)、北上徹祥(副委員長)、桐山一人、森眞一郎、長丸一平 (事務局) 久下教育長、北川教育部長、上出生涯学習課長、福島課長補佐、表主査
主題	委嘱状の交付、委員長・副委員長の選出 企画提案者からのヒアリング、審査・評価、受託候補者の特定
内容	<p>1. 委嘱状の交付 委員を代表して、田村委員に教育長から委嘱状を交付</p> <p>2. あいさつ 久下教育長あいさつ</p> <p>3. 委員の紹介 各委員自己紹介</p> <p>4. 委員長・副委員長の選出 委員互選により委員長に田村暢熙、副委員長に北上徹祥の両氏を選出 田村委員長あいさつの後、議事を進行</p> <p>5. 議件</p> <p>①指定管理制度及び公募等について 【事務局説明及び質疑応答】 <<事務局>>次期指定管理候補者の申請は、(株)エイムの一者であったことを報告。 <<委員>>指定管理料がH27年度比で520万円減額の提案だが、利用人数の増減は。 <<事務局>>指定管理がエイムになってから利用人数は毎年増えている。使用料収入のほか自主事業を行っている。 <<委員>>年間プール利用者は減っているのか。 <<事務局>>2ヶ月近くプール利用不可の時期があったため、プールの利用者は若干減っているが、トレーニングルーム利用者が増えており、全体として利用料金は増えている。</p> <p>②エイムによる企画提案書のプレゼンテーション (山崎社長ほか3名入室) 【企画提案者(株)エイムにより事業概要を説明】</p> <p>【質疑応答】 <<委員>>現在、プールのスタッフは常勤・非常勤にかかわらず、何名が地元の人なのか。 <<エイム>>地元スタッフの採用を中心としており、スタッフは10数名のうちほとんどが内灘町民。 <<委員>>マイボイス(ご意見箱)で改善意見があるが、すぐに改善ができないような、例えばベンチプレスをフリーウエイトタイプにする要望など、対応はどうするのか。 <<エイム>>フリーウエイトベンチプレスは、スタッフが常駐しないと危険なため、今は実施していない。今後スタッフの確保ができれば、フリーウエイトが可能となる。その他、要望・懸案事項が生じれ</p>

ば、随時対応を検討する。

《委員》今後5年間で利用者数11万人、今年度より1万人を増やす計画だが、収支予算書を見ると、利用者1万人増に対し、5年後は現在の利用料金収入と比べて100万円しか増額していない。これは妥当か。

《エイム》すべてにおいて利用料金を徴して利用者数を増やす考えはない。子ども用としてポーネルン社(デンマーク)の遊具を設置し、無料で使える人数も利用者数に含むため、利用料金の収入とは直結していない。

《委員》過去5年間の利用者からの意見は、どのような形で収集し、その中で改善できたこと、できなかったことや利用者とのトラブルがあったかどうか、あった場合はどのような内容でどう改善されたか。

《エイム》改善事例としては、マイボイスで意見を集めて施設改善に取り組んできた。また、口頭によりスタッフ(受付やプール監視など)が直接聞いたこと、例えばプールサイドや廊下の寒さに関してはヒーターを設置し、簡易的に改善できるものはすぐ対応してきた。設備的に大がかりな修繕が必要なものは、担当課と協議しながら改善に努めた。今まで特に大きなトラブル事例はない。

《委員》今回の提案で指定管理料520万円の減額はありがたいが、町としては、プロ集団のエイムが町民の健康増進プログラムを実施していただいた方が、波及効果が大きいと思う。

《エイム》指定管理料の減額に関しては、内灘町への貢献を主眼に金額設定した。プログラムの提案は、次期5年間も順次内容を更新し、ソフトサービスを充実させる。また、タニタと業務提供したので、健康寿命の延伸に関してソフトサービスをつなげていきたい。

《委員》健康寿命の増進の観点から、生活改善プログラムの提供という提案はインパクトが強い。これはエイムのプログラムに参加した人が対象ということか。

《エイム》スポーツに興味のなかった方が、体を動かすことを好きになるということは簡単ではないし、プール施設でできることには限界がある。利用者を10万人から11万人に増やすという中には、一人あたりの利用回数が増えるだけでなく、利用する人数が増えるよう、様々な人が使えるようにすることが大事。そのために、一見は関係のないようなイベントでもプールに会場いただき、興味がわき、結果として利用者の拡大につなげる。また、金沢医科大学病院が近くにあり、公民館は17施設もあり、将来はこれらとコラボレーションし、スタッフをそれらの施設に派遣するなど関わることで、プールになかなか足を伸ばせない方にも親しめるような企画を検討していく。

《委員》生活習慣病を改善したいというニーズはある。タニタの機器は、データが日本人ベースなので良い。プールだけでなく、町民全員が健康寿命をどう伸ばしていくかということ意識的に考えてもらえるようなプログラムを、町も協力して検討してほしい。

(以上、エイムによるプレゼンテーションが終了し退室)

③各委員による審査・評価

【委員からの意見及び質疑】

《委員》健康寿命の延伸については、町もコラボレーションする必要がある。

《委員》エイムには、可能な限り町と連携してオリジナリティーのあるもの企画してほしい。

《委員》町と定期的な意見交換の場はあるのか。

《事務局》基本的には3ヶ月に1回の定期的なモニタリングの報告のみ。

《委員》報告を受けるばかりではなく、こちらからも定期的に発信していくことが必要だ。

《委員》プールを拠点に総合公園内をウォーキングするなど、事業の共同開催も検討を。

《委員》未利用者に足を運んでもらいやすい方法を模索することが、今後も重要となる。

指定管理者にばかり求めるのではなく、町も連携協力するという考え方が必要だ。

《事務局》利用者の幅を広げるのであれば、高齢者等でプールに足を向けたことのない人にも広げたい。町も指定管理者と協力して、プールの利用促進に努める。

④受託候補者の特定

《委員長》(株)エイムを、屋内温水プールの指定管理候補者とすることに決定してよいか。

《委員》 全員賛成

《委員長》当委員会の審議の結果、(株)エイムを、指定管理候補者として内灘町長へ答申する。

《事務局》後日、当委員会での審議結果を町長へ答申したのち、1月28日開催の内灘町議会で議決、その後、町とエイムで協定内容を協議のうえ4月1日運営開始の準備をする行程を説明。

6. 閉会

委員長あいさつ後、終了。